

伊國政府ハ英國政府カ同會議ニ依リテ討議セラルヘキ論題ニ關シ伊國側ノ見解ヲ通報スルヲ求メラレタルニ對シ之ヲ諒承シ英國側ノ同様ノ通報ニ接センコトヲ期待シ其ノ都度伊國側ノ見解ヲ回示スヘキコトヲ留保スルモノナリ」

(參考) 十月十六日在京伊國大使幣原大臣ヲ來訪シ伊國ノ對英回答ヲ內報シタルニ付大臣ヨリモ我對英回答案ノ要領ヲ內報シタリ其際同大使ハ「ロンドン」會議ニ付テハ今後日伊兩國政府ノ間ニ充分意思ノ疏通ヲ圖ルコトトシ度キ旨希望シタルニ付大臣ハ之ヲ了承シ置キタリ

第三節 日、佛、伊回答ニ關スル各國新聞論調

(イ) 英 國

十月十七日「タイムズ」ハ次ノ三ヶ月間ニ於ケル非公式話合ハ會議ノ障礙ヲ除去スルヲ得ヘキ處目下ノ最大障礙ハ陸海空三軍聯繫問題ニシテ右ハ英米ノ主張ト衝突ス海軍會議ハ軍縮準備委員會ノ豫備的性質ヲ有スルカ故ニ「ロンドン」會議ニ於テハ何等各艦種別ニ依ル噸數及備砲ニ關スル協定ヲ遂クルハ不可能ナラントノ佛國政府ノ意嚮ヲ反映スルカ如キ佛國新聞ノ見解ハ明カニ英米交渉ノ結果ト矛盾ス之ニ加フルニ佛伊間ノ比率英米ノ潛水艦廢止希望ノ如キ諸問題ハ何レモ會議ヲ決裂セシムルニ充分ナルヲ擧ケテ和衷協同之カ論議解決ニ努ムルニ非サレハ會議ノ成行困難ナル旨ヲ述ヘ各國カ兎ニ角「ロンドン」ニ會合スル事ハ好意ノ表象ナリト結ヘリ

十九日「テレグラフ」ハ日、佛、伊三國回答ヲ比較シテ要旨左ノ如ク論ス

佛伊兩國ハ英米豫備交渉ヲ白眼視セルモ參加ヲ拒絕セハ英米ノ眞摯ナル企圖ヲ輕視スルノ嫌アルヲ以テ濫々招請ヲ受諾セルカ日本ノ回答ハ之ニ比シ遙ニ明白ニ同情的態度ヲ表明シ單ニ軍備ノ制限ノミナラス縮少ヲ力説シ之亦當初ヨリ「フリージャー」大統領ノ主張セル所ナルモ佛伊ノ回答ハ之ニ言及セサルハ海軍縮少ヲ實現不能ト爲スカ爲ヨリモ寧ろ會議ニ於テ該問題ニ付何等「コムミット」セサラムトスルノ決意ニ出ツ又日本回答ハ不戰條約ノ精神ニ滿腔ノ贊意ヲ表セ

ルモ伊ハ一言モ之ニ言及スル所ナク佛モ亦之ヲ重視シ居ラス更ニ佛ノ回答ト日本ノ夫レトノ最モ顯著ナル精神並ニ意圖ノ相違ハ前者カ最モ明白ニ來ルヘキ會議カ軍縮準備委員會事業促進ヲ目的トセサルヘカラストノ見解ヲ答ヘ居ルニ對シ日本回答カ軍縮準備委員會及一般軍縮會議ニ何等言及シ居ラサル點ナリ英米兩國政府ノ意圖カ五國會議ノ協定ヲ幾年後トナルヤモ知レス且理想ニ過キサル前記ニ會議ノ決定ヲ待タス別個且即時ニ實施セムトスルニ在ルハ周知ノ事實ナルト共ニ陸海空三軍聯繫ニ關スル佛伊ノ主張モ依然實行セラレ居ラス最後ニ日本回答ハ會議前英政府トノ非公式談合ヲ強調セルカ會議ノ成功ハ實ニ來ル三ヶ月間ノ充分ナル準備ニ懸ル云々

二十一日「テレグラフ」ハ五國海軍會議ニ關スル日本ノ對英回答ニ關スル同紙外交記者通信ヲ掲ケタルカ其ノ要旨左ノ通

英米ト日本トノ間ニハ豫備交渉ニ於テ考慮セラルヘキ數多ノ重要ナル相違アルヘキモ日本回答カ一般的ニ會議ノ目的及方法ニ同意セルハ明カナリ佛伊ト異ナリ日本ハ來ルヘキ會議ヲ以テ自主獨立ニシテ之ニ提起セラルヘキ特殊問題ニ關シテハ最終的決定ヲ爲シ得ヘキモノト認メ居レリ又日本ハ單ナル軍備ノ制限ニ止ラス眞ノ縮少ヲ希望シ居ル事英米ニ劣ラス更ニ喜フヘキ事ハ日本カ從前ト異ナリ何等疑惑ヲ示サスシテ最近ノ英米接近ヲ歡迎セルノ精神ニアリ日本ハ英米接近カ其ノ安全ニ對スル脅威ニ非シテ保障タリ極東ニ於ケル敵對行動ニ非シテ新ナル共同動作ヲ齎スモノナルヲ看取セリ日本政治家ハ二大英語國民ノ接近ニ依リ其ノ何レカカ日本ニ對シ非友誼的態度ニ出ツルノ危險去レルヲ洞察セリ何トナレハ英米ハ危機ニ際シ自制和解ノ爲努力スヘキヤ必然ナレハナリ佛伊カ英米接近ニ付日本ト同様思慮アル見解ヲ採リ得サルハ悲シムヘシ

(ロ) 米 國

日佛ノ回答ニ付十七、十八兩日ノ主要新聞何レモ社説ヲ掲ケタルカ各國回答ノ速ニ出揃ヒタルヲ慶賀スルト共ニ會議前ノ豫備的會談ニ依リ諸般ノ難問題ニ付話ヲ纏メ置ク事ノ肝要ナルヲ力説ス尙日本回答ニ付テハ「ウォールド」カ右ハ極メ

テ懇切ナルモノナリト述ヘ又二十一日「ニューヨーク、タイムズ」カ後記ノ如ク論セル外別段論評ヲ加ヘス各紙トモ主トシテ佛伊ノ態度ニ付論ス其ノ大要左ノ通

(1) 佛伊ノ真意カ聯盟ノ同意ヲ待チテ「ロンドン」會議取極ノ效力ヲ發生セシメントスルニ在ルナラハ右ハ海軍縮ヲ無期延期スルニ等シ蓋シ聯盟ノ軍縮事業カ遅タトシテ進行セサルハ周知ノ事實ナリ「ワシントン、ボースト」及「ニューヨーク、ヘラルド、ツリビューン」

(2) 佛國其ノ他カ潜水艦廢止ニ反對スルハ尤ナリ「ワシントン、ニューズ」

小海軍國側ノ態度ニ顧ミ潜水艦廢止ハ當分不可能ナリ「シカゴ、デイリー、ニューズ」

佛國カ「ロンドン」會議參加ニ決定シタルハ英米カ潜水艦廢止ヲ強要セサルヘキ見込附キタル爲ナルヘシ「ニューヨーク、タイムズ」

日本ノ對英回答ニ關シテハ二十一日「ニュー、ヨーク、タイムズ」ハ社説ニ於テ日本ハ制限ノミナラス縮少ノ實現ヲ期セルコト明カナルカ一面潜水艦ノ廢棄ヲ欲セサルヲ以テ大陸國ト英語國トノ雙方ノ立場ニアルモノナレハ「ロンドン」會議ニ於テ右大陸國ト英語國トノ見解ノ相違ヲ調停スルニ助力スルコトナルヘク從テ最後の調節ヲ計ルニ對シ日本ノ及ホス影響ハ大ナルモノアルヘシト論セリ

(ハ) 佛 國

佛國回答ニ關シ「パリ」各新聞紙ハ概ネ贊意ヲ表シタルカ主ナル論調左ノ通

(1) 佛國トシテハ補助艦七割ヲ主張スル日本側ニ倣フヘキナリ「タン」「リベルテ」

(2) 佛國ノ地理的事情ヨリ見ルニ佛國ハ寧ロ英國トノ「パリテイ」ヲ要求シ得ヘキ次第ナリ「ジュールナル」「エキセルシオール」

(3) 佛國トシテハ其ノ國防上必要ナル海軍力ヲ算出シテ之ヲ主張スルヲ以テ足ルヘク此ノ方法ニ依リ「パリテイ」ニ關ス

ル伊太利トノ不愉快ナル論議ヲ避クルヲ得ヘシ「マタン」

(4) 陸海空三軍軍縮牽聯性ニ關スル佛國從來ノ主張ハ斷然讓歩スルヲ得ス「タン」

(5) 主力艦代艦起工延期案ニ關シテハ佛國ハ「ワシントン」條約ニ基キ既ニ建造ノ筈ナリシ主力艦並ニ沈没シタル「フランス」號ノ代艦建造方ヲ留保セサルヘカラス「デバ」「ジュールナル」

尙十七日「タン」ハ佛國ノ回答中ノ英米ノ交渉ハ聯盟軍縮準備委員會ノ決定セル方法ニ從ヒ主義上ノ談合ヲ行ヒタルモノナリ云々ノ項ハ佛國側ノ特ニ重キヲ置ク點ナリトテ五國會議ノ事業ハ聯盟ノ一般軍縮ノ一部ヲナスヘキモノナルコトヲ強調シタル上同回答ニ留保ナキコトヲ以テ佛國カ其ノ從來ノ主張ヲ拋棄シタルモノト見ルヘキニアラス又各國ハ何レモ其ノ特殊ノ事情ニ基キ其ノ必要トスル軍備ヲ保有シ得ヘキナリト論シタリ

又十九日「エキセルシオール」ハ佛伊間内交渉開始ニ關シ本件交渉ハ佛伊間ニ特別協定ヲ締結セントスルモノニハアラスシテ日本カ其ノ對英回答中ニ言及セル豫備交渉同様五國會議ノ成功ヲ容易ナラシムル爲ノ下相談ニ過キス佛國ハ伊國ト地理的及作戰上ノ事情ヲ異ニスルヲ以テ伊佛間ノ「パリテイ」ハ到底之ヲ承認スルヲ得スト論シ同日ノ「エコー、ド、パリ」ハ佛國カ戰時北「アフリカ」ヨリ三十萬ノ陸兵ヲ輸送スルノ必要アルヲ指摘シ伊國トノ「パリテイ」ニ反對ヲ表明セリ

尙「ブリアン」外相ハ十八日佛國ハ今次ノ對英回答ニハ何等ノ留保ヲナササリシモ今後適當ナル機會ニ於テ右留保ヲ提出スル意向ナリト言明セル趣報セラレタリ

(ニ) 伊 國

伊國回答ニ關スル各新聞ノ論調ヲ綜合スレハ左ノ如シ

(1) 伊國ノ回答カ各國ニ先シ且會議ヲ困難ナラシムルカ如キ留保ヲ含マサルハ伊國ノ軍縮問題ニ對スル誠意ヲ表明シタルモノナリ

(2) 總噸數主義歐洲大陸海軍國トノ均勢維持主力艦艦齡延長等ニ就テハ英佛妥協案ニ對スル客年十月九日附對英國回答中ニ開陳セル伊國ノ見解ハ其ノ後國際政局ノ變轉ニ拘ラス何等ノ變化ヲ見ス

(3) 伊國ハ聯盟ノ軍縮事業ニ協力シ居ルヲ以テ來ルヘキ「ロンドン」會議ト「ジュネーヴ」トノ關係ヲ重視ス「ジョルナル」又「ジョルナル」、デイタリヤ「メッサジエロ」ハ回答中ニ何等留保ヲ記載セサルノ事實ハ何等豫メ「コンセンサス」ヲ爲スノ趣意ニ非サル事ヲ特ニ指摘シ「テベレ」、「ボボロ、デ、ローマ」ハ英米關係ニ於テスラ一致セサル點アルニ顧ミ五國間ノ會談トナラハ一層困難ヲ豫想シ得ヘシ又艦種別制限ハ其ノ軍縮ヲ齎ス所以ニ非ストシ會議ハ結局英米ノ軍備擴張ニ終ル事トナラムカラ懸念セリ

第四章 會議開會前ニ於ケル日英米豫備交渉

第一節 日米豫備交渉

第一項 帝國全權米國經由問題

(一) 帝國全權米國經由方ニ關スル「スチムスン」國務長官ノ申出

十月十日出淵大使「コットン」國務次官往訪ノ序ヲ以テ米國側全權ノ顏觸ニ關シ質問ヲ爲シタル際同次官モ亦日本側全權ノ顏觸如何ト尋ネ出淵大使ニ於テ未タ何等承知セスト述ヘタル處次官ハ「實ハ日本全權カ「ロンドン」ニ赴カル途中之ヲ「ワシントン」ニ招待シテ懇談ノ機會ヲ造ルコト然ルヘシトノ考ニテ兩三日前國務長官ト相談シタルカ來週水曜同長官歸華次第(長官ハ目下紐育ニ滞在中)更ニ協議ノ上決定スル積リナリ」ト語レリ

越テ十六日出淵大使國務長官ノ求メニ依リ往訪セル處同長官ハ「實ハ明十七日常例會見ノ際御話スル考ナリシモ一日モ早キ方好都合ト考ヘ本日特ニ御來訪ヲ求メタル次第ナルカ日本全權「ロンドン」行ノ際ニハ「シベリア」鐵道ノ不便ナル現狀ニ顧ミ米國ヲ經由セルル事最捷路ナリト認メラル就テハ日本全權ニ於テ數日間「ワシントン」ニ立寄ラレ軍縮問題ニ付懇談ノ機會ヲ與ヘラルルヲ得ハ甚タ幸トスル所ナリ右貴國政府ヘ御傳達ヲ請フ」ト述ヘタルヲ以テ大使ハ「米國政府ノ好意ハ帝國政府ニ於テ大ニ多トスル所ナルヘシ」ト挨拶シタル上同大使含ミ迄ニ「日本全權ノ「ワシントン」立寄ハ何日頃ヲ以テ好都合トセラルル次第ナリヤ」ト尋ネタルニ長官ハ「只今ノ處明確ニハ申上ケ兼スルモ差當リ自分ノ思付トシテハ米國全權ハ多分一月十日前後ニ「ワシントン」ヲ出發スル事トナルヘキカ十二月下旬ハ「クリスマス」休日ノ關係モアルニ付新年早々日本全權ヲ「ワシントン」ニ御迎ヘスル事ヲ得ハ最好都合ナルヘク尙相成ルヘクハ日本全權ト同船渡英シ船中更ニ懇談ヲ繼續致シタキ考ナリ尤モ本日貴大使ト御話シタル次第萬一世上ニ漏ルルカ如キ事アラハ必スヤ歐洲方面ヨ